

令和4年度 ちょうふのぞみ保育園事業計画書

乳幼児の最善の利益を考慮し、その福祉を積極的に推進することを前提とする。乳幼児の人間形成の基礎を培う大事な時期。年齢に応じた発達を踏まえ子どもとの信頼関係をもとに、一人ひとりを大切に、心身ともに健康的な保育を心掛けて参ります。

家庭や地域社会と連携を図り、多様な価値観を尊重しあつての親育ち、主体性が育つ物的・人的環境のもとでの子ども育ち、安心して地域の中で子育てができる育ちあいの場づくりを職員一同踏まえて保育を心がけていきます。

○年齢に応じた発達を踏まえ、子どもとの信頼関係をもとに一人ひとりを大切に、個々の発達にあわせた保育を心がけます。

○生活や遊びを通して、異年齢の関わりを深め、子ども同士の育ち合いを見守ります。

○子どもの目線に立って、感動する柔らかな感性を持ち、豊かな自然と親しむ保育をしています。

○子どもの育ちを支えながら、保護者と子育ての喜びを共感していきます。

○子どもを一人の人間として認め、尊重していきます。

1 施設運営

(1) 児童の処遇

ア クラス編成

クラス名	年齢	常勤保育士数	定員数	園児数	備考
たまご	0歳	3	9	9	
ひよこ	1歳	2	12	12	
(年度限定児)	1歳				4月入園0
かるがも	2歳	2	17	17	
おうむ	3歳	2	17	17	
こぼと	4歳	1	17	16	
めじろ	5歳	1	18	15	
フリー		1			
合計		12	90	86	

※職員の数人は現況の園児数に合わせた職員配置となっています。

イ 月別保育予定日数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計 293日
25	23	26	25	26	24	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
25	24	24	23	22	26	

ウ 保育方針

- ・あたたかい見守りの中で心地よく過ごせる環境を提供していく。
- ・ひとりひとりの良さを伸ばせるように育ちを援助していく。
- ・静と動のメリハリのある保育をしていく中で、心と体のバランスをとれるようにしていく。
- ・家庭との連携を密にして信頼関係を築き、子育ての楽しさを共感し合う。
- ・地域・保育園・家庭が支えあって子育ての輪を広げていく。

エ 各組の保育目標

めじろ組(5歳児)の年間目標

- ・まわりの人との関わりの中で、達成感や満足感を感じ、意欲的に生活する。
- ・就学に向け、健康的な生活に必要な習慣や態度を身につける。

こぼと組(4歳児)の年間目標

- ・保育者や友達と一緒に遊ぶことに喜びを持ち、関わりを深め、集団としての行動が出来るようになる。

おうむ組(3歳児)の年間目標

- ・園生活の流れや生活の仕方が分かり、自分で身の回りのことをしようとする。
- ・自分の興味、関心、思いを自分なりの方法で表現する。
- ・体を十分に動かしていろいろな動きのある遊びを楽しみ、心地よさを味わう。

かるがも組(2歳児)の年間目標

- ・保育士との関わりの中で身の回りの事も自ら挑戦していく。
- ・生活の中で言葉を習得し、自分の言葉で表現する。
- ・他児への関心が芽生え、保育者の仲立ちにより、友達と関わって遊ぶことを楽しむ。

ひよこ組(1歳児)の年間目標

- ・安定した生活リズムの中で食事・排泄・身の回りの事等の基本生活を身につける。
- ・信頼できる人間関係の元、興味や好奇心を育み、様々な経験をする。

たまご組(0歳児)の年間目標

- ・安全で心地よい環境の中で、一人ひとりの生活リズムを大切にしながら安心して過ごす。
- ・表情や仕草、気持ちを受け止めてもらい、人との関わりを喜び、保育者との信頼関係を築く。
- ・見る、聞く、触れるなど五感を使って遊ぶことで、周りへの興味や関心を広げていく。
- ・戸外遊びを通して自然に触れたり、身体を動かして探索活動を楽しむ。

オ 健康管理

子ども一人ひとりの発育発達の個人差（個性）を考慮しながら、健康な生活習慣を身に付け、豊かな成長が遂げられるよう積極的に次の点に取り組み、且つ保護者への情報提供も行い、保育所と家庭との連携をしっかりと、子どもの発育を促していく。

- [1] 日常養護・健康管理
- [2] 病気の予防と早期発見
- [3] 安全と事故防止
- [4] 健康増進と保健指導
- [5] 環境衛生

年間保健行事

	各対象年齢に応じたもの
乳児健診	0歳児（月1回）
内科健診	全園児（年2回）
歯科健診	全園児（年2回）

※年2回の内科健診に欠席などにより受けられなかった園児は、乳児健診時に受けられるようにしている。

カ 主な行事予定

クラス懇談会・春の遠足・夏まつり・運動会・ちょうふキッズ（発表会）
秋の遠足・全体懇談会・お別れ遠足・卒園式・お別れ会

キ 食事

- [1] 目標 ・食物に関心を持ち、食べることが好きになる。

配慮事項 ・保育者も一緒に食事をし楽しい雰囲気を作る。
・苦手なものを食べてみようとする気持ちに促す。
・よく噛んで食べられるようにする。
・収穫物を使ったクッキングが楽しめるようにする。
・自分の健康に興味を持ち偏食せずに食べることで健康を維持できるということを知らせる。

[2] 食育

毎月 月 一 予定献立表の配布。アレルギー児には栄養士と保護者でアレルギー児用の献立を確認している。
誤食を防ぐため、栄養士、クラス担任、保護者とアレルギー面談を通して確認する。個人ファイルを作成する。食品の受け渡しの時はそれぞれが声を掛け合い、指差し確認しその都度Wチェックをする。

給食だまり ちょうふのぞみ保育園の食事の紹介や栄養情報などをまとめ月1回発行する。

食を考 える - ・月1回行われる給食会議にて、献立や提供された食事の感想や反省、改善案などを出し合いよりおいしい食事作りに取り組み、食育を含め食全般についての勉強、話し合いの場としている。野菜作りを通して成長を知り、収穫の喜びを味わう。

・各クラスラウンドし、子ども達の喫食状況の把握をする。

展 示 食 - その日の給食(離乳食)の見本を展示する。給食サンプルは携帯アプリにて発信

[3] 衛生管理

○衛生チェック表を作成し、毎日衛生項目に沿って確認している。

○調理人の細菌検査(毎月1回、冬季のみ月2回) 調理室の掃除、ワゴン清掃(毎日)、冷蔵庫消毒、食器洗浄後熱風庫にて保管原材料・調理済み食品の保存(2週間)をしていく。

ク 安全管理

非常災害時の避難訓練、消火訓練(毎月)

防犯訓練(年2回)

引き渡し訓練(年1回)

安全チェック実施

(2) 職員の処遇

ア 職員構成

施設長	1名
主任保育士	1名
保育士	12名
保育士パート	3名
保育補助	2名
看護師	→ 1名
調理員	3名(栄養士含む)
事務員	1名
嘱託医	1名(非常勤)

イ 健康管理

健康診断 年1回

細菌検査 毎月

ウ 職員会議

- ・管理者会議毎月1回
- ・職員全体会議毎月1回
- ・給食会議毎月1回
- ・保健会議毎月1回

エ 研修計画

乳児保育・幼児保育・保健衛生・保護者支援・気になる子への支援・食育、アレルギー
一対応・安全対策など

オ 退職・福利厚生

- ・福祉医療機構退職共済制度加入
- ・整体

2 施設管理

(1) 事務関係

ア 会計事務、管理事務

イ 児童処遇事務（保育、給食、健康管理）

(2) 設備関係

ア 固定遊具の設備点検

(3) 備品関係

ア 備品購入予定

- ・物置（非常用階段下に設置）
- ・巧技台
- ・保育室の扉
- ・模擬用消火器
- ・PC

(4) 災害対策

ア 避難訓練、消火訓練

毎月1回

イ 不審者対応

年2回

ウ 防災設備の点検委託

年2回（内、届け出1回）

エ 非常食糧の備蓄

（全児童数＋全職員数）×3食×2日分

3 保護者にむけて

(1) 保育への理解と協力の促進

ア 保育参加・保育参観

6月頃設定し、給食の試食提供をする。

一年を通し、保護者からの申し出により、希望に応じ行っていく。(全保護者)

イ 個人面談

保育参加・保育参観後に希望に応じ行っていく。

日々の子どもの様子を伝えたり保護者の気持ちを確認して保育に役立てる。

ウ 保護者会・クラス懇談会

・保護者会、年1回予定(4月か5月)

・クラス懇談会 進級時(4月か5月)、年度末(2月)実施予定。

エ お知らせ

・園だより毎月1回以上発行

・クラスだより随時発行

・保健だより毎月1日に発行

・給食だより、献立表、毎月1回発行

4 地域社会との連携

・同市の保育所と連携をとり、子どもたち同士の交流が出来るようにしていく予定

・近隣のグループホームを園行事にご招待したり、訪問したりと一緒に歌を歌うなど交流する。

《子育て支援》

・0才児母を対象とした、離乳食講座を実施し、地域の方向けの食育や、保育園に出向いて頂くことにより、育児相談等も合わせて実施。

《世代間交流》

・地域の小学校・中学校・高等学校と連携を持ち、ボランティア・職業体験・子育てボランティアの育成を積極的に受け入れる。

・たんぼぼの郷との交流を計画的に立て、お年寄りとの交流を深める

《情報提供収集による支援》

・HPの活用による情報発信

・園便り、また関係機関等からの情報を掲示板に張り出し、子育て中の親子に提供する。

・園外(地域など)から意見も取り入れられるよう情報把握や提供を行っていく。

また、民生委員や保健福祉センターとの連携もとっていく。

《実習生の受け入れ》

・依頼があれば実習生を受け入れ、保育士育成の援助をしていく。